

柏葉 みのる（かしわば・みのる）

1、プロフィール

川柳作家。昭和5年より川柳入門。中央柳誌「川柳研究」「ふあうすと」などで活躍。「しもきた川柳社」創立。県川柳人を指導、重鎮であった。

<生没>

1911(明治44)年8月28日 ~ 1987(昭和62)年11月8日

<代表作>

川柳句集『銃眼』『鳥獣戯画』

<青森との関わり>

下北郡東通村に生まれる。電報電話局職員として下北郡、県南に勤務する。

2、作家解説

明治44年下北郡東通村に生まれる。本名實。昭和2年仙台逓信講習所青森支所普通科卒。下北郡内の郵便局に勤務。その後満州へ渡り郵便局、電報電話局に勤務。21年帰国、田名部郵便局へ復帰。24年田名部電報電話局へ勤務、以後下北郡県南各地を転勤し、45年退職。

5年「下北新報」の川柳欄や東奥日報の「柳の芽」に投句し川柳入門。7年田澤有石が中心となって結成された「川柳隊」に同人として参加。渡満後も川柳を続け「大陸川柳」の同人となっている。21年帰国後、田名部川柳社に参加、23年県川柳社同人となる。35年「しもきた川柳社」創立、代表となる。中央誌には「ふあうすと」「川柳路」「柳樽寺川柳会」の各同人、また「川柳研究」へ投句し活躍。51年第9回川柳年度賞、52年川柳研究年度賞を受賞。また57年青森文芸協会賞受賞。川柳指導者として若手を多数育成、県柳壇の重鎮であった。昭和62年11月8日死去。享年72。

平成4年川内町の川内川溪谷遊歩道「川柳の森」句碑群の一基として句碑建立。「みかえりの坂でんでん虫乾く」みのる

昭和 57 年、句集『銃眼』刊行。

平成元年、句集『鳥獣戯画』刊行

3、資料紹介

○『銃眼』

図書

1982(昭和 57)年5月 23 日

183mm×130mm

川柳句集。著者の第一句集。これまでの作品の中から自選 197 句を所載。『現代川柳ハンドブック』(雄山閣、1998 年刊)の現代川柳句集 100 選の一冊として載っている。編集高田寄生木、発行人杉野草兵、発行所かもしか川柳社。

○『鳥獣戯画』

図書

1989(平成元)年6月1日

183mm×130mm

川柳句集。著者の第二句集で没後出版された遺句集。死の直前まで川柳を創りつづけた著者の力のこもった作品集である。編集野沢省悟、発行人杉野草兵、発行所かもしか川柳社。